

公益目的事業 たたら製鉄の歴史と技術を保存、公開、実践することで日本の鉄文化を保護継承していく活動

1) 講座、セミナー、育成事業

①鉄の歴史村の講演会

タイトル： 鉄の歴史村の講演会 第3回 菅谷たたら山内総合文化調査報告会

開催日： 令和4年10月8日(土)

場所： 吉田商工会館

講師： 高橋誠二氏、角田徳幸氏、鳥谷智文氏、安部千愛氏

主催： 公益財団法人鉄の歴史村地域振興事業団

共催： 雲南市教育委員会

後援： 雲南市、鉄の道文化圏推進協議会、雲南市たたらプロジェクト会議、
吉田地区振興協議会、一般社団法人日本鉄鋼協会

業務委託： アエラ地域文化デザイン室

開催方法： 対面講演会

先着30名様に『たたら伝道師検定マニュアル』を進呈した

参加： 40人

事業費： 菅谷たたら山内活用事業補助金

開催趣旨：

菅谷たたら山内の総合的な調査による成果物は、昭和43年発行『菅谷鑪』に始まる。歴史学・民俗学・建築学の研究者が中心となり、住民への聞き取り調査、史料調査、建造物や製鉄道具などの調査を通して、菅谷たたら山内に関する基礎資料が集成されてきた。

その後、昭和61年11月に開催した第1回シンポジウム「人間と鉄」以来、多くの研究者の方々のお力添えにより、様々な切り口による調査研究を継続してきた。今回は『菅谷たたら山内総合文化調査報告書3』に寄稿いただいたなかから3名の研究者に発表いただいた。あわせて、雲南市観光振興課から、たたら伝道師検定のPR発表をいただいた。会場を吉田町内とすることで、着地型観光をねらった。吉田地区振興協議会より、プロジェクター・マイク貸出、吉田総合センターより立て看板貸出の協力を得た。

開催内容：

- ・内容1：講演会：対面開催。

高橋誠二氏(雲南市教育委員会文化財課主幹)「八重滝鉦金屋語神社の奉納品について」

角田徳幸氏(島根県古代文化センター長)「菅谷鉦の製鉄用具1」

鳥谷智文氏(松江工業高等専門学校人文科学科教授)

「明治二〇年代後半における田部家経営鉦の操業状況」

- ・内容2：たたら伝道師検定の広報：観光振興課、教科書閲覧コーナー設置

- ・ 内容 3 : 午後は菅谷たたら山内にて「ヘリテージツーリズムマネージャー養成講座」
開催、主催：雲南市観光振興課、共催：公益財団法人 鉄の歴史村地域振興事業団
- ・ 内容 4 : 申込制：弁当（1,000 円程度）：講演会後に講演会場にて配布
参加者どうし、講演会後の懇親の場として活用いただいた。



・ チラシ

「菅谷たたら山内」は、大正時代までたたらに従事する職人たちが居住していた職能集落です。

これまで「菅谷たたら山内総合文化調査」を3年間実施し、令和3年度に刊行した最新の調査報告書に基づき、「菅谷たたら山内」として新たに分かつたことについてわかりやすく発表させていただきます。

また、雲南市たたらプロジェクト会議が実施している「ヘリテージツーリズムマネージャー養成講座」を併せて開催しますので、たたら三昧の1日をお楽しみください。

目
た
た
ら
一
日
三
昧

10/8 sat
雲南市吉田町

午前 鉄の歴史村の講演会
吉田商工会館

09:00 開場

09:30 ご挨拶 (公財)鉄の歴史村地域振興事業団 代表理事 陰山義広

09:40 研究報告Ⅰ：八重滝鉦金屋宇神社の奉納品について
高橋誠二氏 (雲南市教育委員会文化財課主幹)

10:15 研究報告Ⅱ：菅谷鉦の製鉄用具 1
角田徳幸氏 (島根県古代文化センター長)

10:50 研究報告Ⅲ：明治20年代後半における田部家経営鉦の操業状況
島谷智文氏 (松江工業高等専門学校人文科学科教授)

11:20 お知らせ：「たたら伝道師認定制度」について
雲南市たたらプロジェクト会議事務局

11:40 閉会

当日先着 30 名様に「たたら伝道師検定マニュアル」プレゼント。

共催：雲南市教育委員会
後援：雲南市、鉄の道文化圏推進協議会、雲南市たたらプロジェクト会議、
吉田地区振興協議会、一般社団法人日本鉄鋼協会

主催・お問い合わせ
(公財)鉄の歴史村地域振興事業団
TEL : 0854-74-0311
島根県雲南市吉田町吉田 892 番地 1 [insta:tetsureki.tatara](https://www.instagram.com/tetsureki.tatara)
<http://www.tetsunorekishimura.or.jp/>

午後 菅谷山内
13:00

**ヘリテージツーリズム
マネージャー養成講座**

主催：問合せ：雲南市たたらプロジェクト会議
電話 0854-74-1054
共催：(公財)鉄の歴史村地域振興事業団

午前会場：吉田商工会館
雲南市吉田町吉田 2540

午後会場
菅谷山内

注意：会場のトイレに隣りがあります。
非常駐車場のトイレをご利用ください。

お弁当のご注文
1 膳 (会席たむら) /1,000 円
(会場にて飲食可)

【申込方法】
氏名、住所、TEL、備考 明記の上
1. クーブルフォームから
2. FAX 0854-74-0600
【申し込み締め切り】
10月2日 (日) 15:00
注意：10月5日 (水)
以降のキャンセルは実費負担となります。

【申込方法】
氏名、住所、TEL、備考 明記の上
1. クーブルフォームから
2. FAX 0854-74-0600
【申し込み締め切り】
10月2日 (日) 15:00
注意：10月5日 (水)
以降のキャンセルは実費負担となります。

② 博物館講座 たたら塾

<たたら塾 地域学部会>

本部会では、財団研究員が核となり、地域のひとたちとともに、文化財研究活動を展開する。地域博物館として、地域学の成果物を重ねる中で、その担い手を育てる。自治体広報誌や WEB などを通じて、参加者を呼びかける。

活動内容 A 古写真研究

本年度活動内容

- ・鍛冶工房内にある財団所蔵写真の確認・整理を部分的にすすめた。
- ・郷土史家田部清蔵氏所蔵写真の受け入れ打診をご家族より受け、その調整を進めた。

活動内容 B 民具研究

本年度の活動内容

- ・本年度は夏季インターンシップ生 5 人の参加により活動した。
- ・鉄の歴史博物館の 1 号館・2 号館の展示スペースのクリーニング、収蔵スペースの整理をすすめた。
- ・成果として、1 号館 1 階の展示を見直し、ガラスケース内展示を整理したことで、新たな企画展示スペースを確保した。

<たたら塾 サポート部会>

博物館事業総体に関するサポーターを、ボランティア活動員として募集する。

生涯学習や自己研鑽の場としての活用を期待する。

本年度の活動内容

- ・たたら伝道師との連携について運用検討を進めた。令和 5 年度からの活動に向けての準備を進めた。

2) 体験事業等

1. 近代たたら操業

1) 試験操業（炉の安全確認操業）、映画撮影

令和 4 年 3 月末に納品のあった近代たたら炉の試験操業を行った。操業自体は問題なく執り行われ、安全に操業できることが確認できた。併せて、ストラテジックパートナーズ製作の映画「たたら」の撮影が行われ、主人公の重要な場面として、近代たたら操業の撮影が行われた。

①参加者：：財団職員、(株)たなべたたらの里、映画出演者・撮影隊

②実施日：令和 4 年 5 月 1 日（水）～ 5 月 1 5 日（日）

③工程、状況：

5 月 1 日（水） 灰すらし 6 回、土団子づくり

1 2 日（木） 中釜づくり、土張り、炉の乾燥

13日(金) 上釜設置、炭切り作業

14日(土) 安全祈願、火入れ

15日(日) 鋳出し

④原材料投入：木炭565kg、砂鉄426kg

⑤鋳量：106kg

⑥事業費：雲南市近代たたら操業観光体験事業委託費から支出



山陰中央新報
2022年（令和4年）4月21日（木曜日）
地域 22

山陰総合
sanin

島根の自然、父子愛を描く
「たたら」テーマに短編映画
雲南、奥出雲で来月撮影開始

寺島進さん

たたら
TATARA

映画「たたら」のPR画像写真提供・奥出雲町「たたら」製作委員会（2022）

島根県に根付く伝統的製鉄法「たたら製鉄」を題材にした短編映画が作られる。日本の伝統文化の素晴らしさを国内外に伝えようと、二ノ宮国際映画祭で外国語短編作品賞を受賞するなどの映像作家の野澤クニオさん（41）がメガホンを取り、俳優の寺島進さんらが出演する。島根の自然と父子愛を描く人間ドラマ。5月に雲南市や奥出雲町などで撮影が始まる。

短編映画「たたら」は、経営コンサルティングや広告制作を手掛ける「ストラテジックパートナーズ」（東京都）が企画・制作。たたら製鉄は、原料の砂鉄を採る鉄穴流して尾根を削った跡地に棚田を設けて仁多米

をやるなど、資源循環型の農業が育まれた。同社プロデューサーが日本の伝統文化を調べていたところ、島根出身の知人から、たたら製鉄の存在を耳にし、SDGs（持続可能な開発目標）として現代の環境問題を考えるきっかけとしても最適だとして、映画のテーマに選んだ。

上映時間は約20分。主人公のデイビッドはアメリカの中小製鉄会社の最高経営責任者（CEO）。妻を亡くして男手一つで息子ウィルを育てたが、けんかをきっかけにウィルが家を飛び出し日本に移住する。10年後に日本を訪れ、技師長・村下の見習いとして島根で暮らすウィルとその家族との交流や、島根に伝わる伝統技法の考えに触れ、デイビッドに変化をもたらすストーリー。

寺島さんはウィルの義父で、たたら場を切り盛りする役を演じる。その他のキャストは今後発表し、地の元のエキストラを募集する予定。

野澤監督は「今回の映画のメッセージである『心を変える』には、たたら場で作られる玉鋼のように、膨大なエネルギーと強い意志を必要とします。なぜこの世の中に『心を変える』ことが求められているかを根底に描き、共感してもらえたら幸いだと考えています」とコメントした。

8月以降に映画祭への出品を目指す。詳細は映画「たたら」の特設サイトへ。
<https://strategicpartners.jp/tatara/>
（吉田真人）

⑧報道記録 2：映画専用ホームページ、Youtube での予告編公開
予告編



和鋼施設での鋳出しの様子（Youtube の映画予告動画より）

2) 田部家のたたら吹き (6月)

①参加者：たなべたたらの里プロジェクト参加者

②実施日：令和4年6月22日(水)～6月26日(日)

③工程、状況：

6月22日(水)	土づくり、灰すらし3回
23日(木)	灰すらし3回、土団子づくり 元釜・中釜設置、土張り、炉の乾燥
24日(金)	上釜設置、炭切り作業
25日(土)	安全祈願、火入れ
26日(日)	鋳出し

④原材料投入：木炭650kg、砂鉄444kg

⑤鋳量：82kg

⑥参加者：約20名

⑦事業費：操業実費分を株式会社たなべたたらの里様が負担、作業賃・指導者経費等は雲南市近代たたら操業観光体験事業委託費から支出



3) 田部家のたたら吹き (9月)

①参加者：たなべたたら里プロジェクト参加者

②実施日：令和4年9月21日(水)～9月25日(日)

③工程、状況： 9月21日(水) 土づくり、灰すらし3回
22日(木) 灰すらし3回、土団子づくり
元釜・中釜設置、土張り、炉の乾燥
23日(金) 上釜設置、炭切り作業
24日(土) 安全祈願、火入れ
25日(日) 鋳出し

④原材料投入：木炭737kg、砂鉄624kg

⑤鋳量：134kg

⑥参加者：約20名

⑦事業費：操業実費分を株式会社たなべたたら里様が負担、作業賃・指導者経費等は雲南市近代たたら操業観光体験事業委託費から支出

4) 田部家のたたら吹き (11月)、国際学会の操業視察

株式会社たなべたたら里様の11月の操業を、SynOre2022国際会議(第1回鉄鉱石塊成鉱に関する国際シンポジウム：くにびきメッセで開催)のエクスカージョンとして、40名の研究者らが視察された。

①参加者：たなべたたら里プロジェクト参加者、第1回鉄鉱石塊成鉱に関する国際シンポジウムの視察者

②実施日：令和4年11月23日(水)～11月27日(日)

③工程、状況： 11月23日(水) 土づくり、灰すらし3回
24日(木) 灰すらし3回、土団子づくり
元釜・中釜設置、土張り、炉の乾燥
25日(金) 上釜設置、炭切り作業
26日(土) 安全祈願、火入れ
27日(日) 鋳出し

④原材料投入：木炭700kg、砂鉄700kg

⑤鋳量：145kg

⑥参加者：たなべたたら里プロジェクト参加者約20名

第1回鉄鉱石塊成鉱に関する国際シンポジウムの視察40名

⑦事業費：操業実費分を株式会社たなべたたら里様が負担、作業賃・指導者経費等は雲南市近代たたら操業観光体験事業委託費から支出

2. 小だたら操業

たたら原理を普及するため、東京工業大学名誉教授考案の「永田式小だたら操業」が行われた。この操業は、「財団と共催」で行われた。

1) 永田式小だたら操業（6月）〈財団共催事業〉

①実施日：令和4年6月12日（日）

②工程、状況：6月12日（日） 炉づくり、炭切り作業、操業、鋳出し（1基で操業）

（永田和宏氏指導の下、参加者のみで操業）

③原材料投入：木炭29.5kg、砂鉄20kg ④鋳量：不明（参加団体からの情報提供なし）

⑤参加者：約20名

⑥事業費：材料費は参加者負担、施設使用料・光熱水費は財団負担



⑦報道記録：新聞報道 山陰中央新報 令和4年7月1日（金） 第19面

火入れや鋳出しに
高校生や教員が汗
流す 畠たたら製鉄を体験

島根に根付く伝統的製鉄 振興事業団のたたら鍛冶工
法たたら製鉄を手軽に体験 房（雲南市吉田町吉田）で
し、鉄への興味を深めるイ あり、高校生や学校教員ら
ベントが、鉄の歴史地域 が半日をかけて火入れや鋳



たたら製鉄を体験する参加者—雲南
市吉田町吉田、たたら鍛冶工房

出しを体験した。
横田高校（奥出雲町稲原）
の生徒や、雲南市教育委員
会の関係者ら約20人が参
加し、東京工業大学の永田
和宏名誉教授が講師を務
めた。れんがで作った高さ
約1・8mの製鉄炉に火入
れし、砂鉄と木炭を交互に
投入。約5時間半後に炉を
壊して鋳を取り出した。
体験会には有志が企画し
た。8月にも開く予定で、
座学を交え、たたら製鉄へ
の見識を深めてもらう。
（白築昂）

2) 永田式小だたら操業（8月）＜財団共催事業＞

- ①実施日：令和4年8月6日（日）
- ②工程、状況：8月6日（日） 炉づくり、炭切り作業、操業、鋳出し（永田氏指導による）
- ③原材料投入・鋳量：実施団体からの情報提供なし。詳細は不明。
- ④参加者：約30名（人数が多いため、2基で操業）
- ⑤事業費：材料費は参加者負担、施設使用料・光熱水費は財団負担

3) 永田式小だたら操業（3月）＜財団共催事業＞

- ①実施日：令和5年3月12日（日）
- ②工程、状況：3月12日（日） 炉づくり、炭切り作業、操業、鋳出し（1基で操業）
（永田和宏氏指導の下、参加者のみで操業）
- ③原材料投入：木炭42kg、砂鉄21.5kg ④鋳量：不明（参加団体からの情報提供なし）
- ⑤参加者の状況：約20名
- ⑥事業費：材料費は参加者負担、施設使用料・光熱水費は財団負担



4) 吉田小学校・田井小学校の小だたら操業、小刀作り（9～10月）

吉田小学校・田井小学校の令和4年度、校外学習：地域との連携した総合的な学習の時間として、小だたら操業～小刀作り（原材料の製作～製品までの流れ）を体験していただいた。

①実施日：令和4年10月19日（水）

②工程、状況：以下の通り

<築炉と釜土作りスケジュール>

10:00 真砂土と粘土を配合して混練 素足で練り団子を作る。

11:00～ 耐火レンガで、炉造り開始 炉底と側壁に釜土を張る。

13:00～ 昼食、乾燥時間

14:00～ 炭の投入

15:00～ 着火

15:30 送風停止

③鍋量：3.5 kg



④報道記録：新聞報道（山陰中央新報 令和5年2月22日（水））

たたらで小刀作り

【雲南】たたら学習に取ら、名前や日付が刻印
り組む雲南市立吉田、田された自分だけの小刀を作
井両小学校の5、6年生 った。
9人が21日、砂鉄を使っ 児童は昨秋から、たたら
て手作りした小刀の焼きの原料の砂鉄を採る鉄穴流
入れに挑戦した。先人の知しや炭を使った小だたらの
恵や苦労について学びな 操業、鉄の塊「鋸」を使っ
た小刀作りの体験をして
いる。
焼き入れは、小刀を炉で
高温に熱し、水につける
などして強度を高める作
業。鉄の歴史村地域振興
事業団のたたら鍛冶工房
（雲南市吉田町吉田）で実
施し、同事業団和鋼開発係
の小林憲生さん（61）が指導
した。

児童は炉の火の前に真剣
な表情で取り組んだ。小刀
は長さ約15㎝ほどで、小林
さんが研いで仕上げた後、
児童に届ける。
吉田小5年の岡田修平君
（10）は「自分の小刀ができ
てうれしい」と喜び、「大
変だったけど、吉田で受け
継がれてきた文化を感じら
れた」と振り返った。
（山本泰平）

真剣な表情で焼き入れに取り組む児童
〓雲南市吉田町吉田、たたら鍛冶工房

3. ペーパーナイフづくり

五寸釘を使った手軽にできるペーパーナイフづくり体験 (@2,000 円)。

(令和3年度：50名、令和2年度：61名、令和元年度：186名)

体験者数：76名(内、侍ペーパーナイフ@5,000円：3名)

主な内訳 10代：22名、20代：15名、30代：15名、40代：17名

4. 和鋼小刀づくり体験

近代たたら操業でできた鋼材から、小刀を作る体験 (@32,000 円)。

(令和3年度：0名、令和2年度：0人、令和元年度：0人)

体験者数：1名

5. うんなんこども冒険団(子ども体験事業)

＜菅谷たたら山内に生息するオオサンショウウオの保護活動＞

令和4年度事業計画どおり、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を考慮し活動自粛とした。

＜夏休み体験事業＞

夏休みに子供体験事業を開催し、家族単位での交流人口の促進に取り組んだ。

吉田小学校から画板借用の協力を得た。

タイトル： 写生大会プラス

開催日時： 令和4年7月31日(日)

場 所： 菅谷たたら山内

講 師： 高橋健一、三刀屋高校、美術講師

主 催： 公益財団法人鉄の歴史村地域振興事業団

開催内容： 子供向け施設案内、ミニミニたたら体験、写生指導、写生

参加賞としてポストカード・マスキングテープ・飲料を用意した。

参 加： 7人(小学生3人、中学生2人、保護者2人)

事 業 費： 菅谷たたら山内活用事業補助金

⑤鉄・体感イベント・・・中止

令和4年度事業計画では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を考慮し、活動自粛とした。

3) 博物館等の展示（指定管理業務）

令和3年度から令和5年度までの3か年度において、菅谷たたら山内及び周辺施設、吉田町郷土文化伝習施設（鉄の歴史博物館）の指定管理業務を行っている。

令和4年度の公開展示施設の運営に関しては、新型コロナウイルス感染症の終息とともに入館者数の伸びる傾向にあった。

① 菅谷たたら山内及び周辺施設

展示内容の見直しを進めた。特に、三軒長屋のリニューアルオープンにむけて、菅谷たたら山内全体の文化財としての見せ方について、文化財課とも協議を重ねた。結果、修復成果物の建物を見せることに主眼を置き、施設内の文字パネル以外の撤去を順次すすめた。

② 鉄の歴史博物館（吉田町郷土資料館）

タイトル： つつむ

会 期： 令和4年12月1日（木）～12月28日（水）

点 数： 47点

開催内容： ダチ・タテブクロ・ネジレブクロなどの民具を展示した。たたら山の村の衣文化の一端として照射した。“懐かしいモノ展示”によって、地域博物館として地元向け文化財教育を狙った。結果、地元女性の来館者数が伸びた。新聞掲載の効果もあり、手紙や電話での問い合わせもあった。12月は積雪による悪天候日が多かったうえに、臨時休館が24（土）25（日）の二日間に及んだ。しかし、月間入館者数をみるとR3年度215人、R4年度193人というように、落ち込みは少なかった。企画展の効果によるところが一定あったといえる。

事業費： 菅谷たたら山内活用事業補助金

■掲載：山陰中央新報、令和4年12月22日（木）



■チラシ



企画展

ダチ・タテブクロ・ネジレブクロ

つつむ

会期

2022.12.1(thu)~12.28(wed)

吉田の地域文化の一つとして「つつむ」をキーワードにしたモノ展示です。
雑木の山の資源素材や衣素材を活かす知恵として、その実態をご報告します。

鉄の歴史博物館

島根県雲南市吉田町吉田2533

TEL:0854-74-0043

zaitetsu@i-yume.ne.jp

>休館日：月曜

>入館料：一般 ¥520 小中 ¥260

>駐車場：博物館横に5台ほど可能



公益財団法人 鉄の歴史村地域振興事業団

<http://www.tetsunorekishimura.or.jp>

雲南子神社における奉納品

金屋と新造屋の奉納品

菅谷たたり山内総合文化調査 速報展

金屋神社と新造屋の奉納品に迫る最新成果！

一掛合町の八重滝たたら

会期：2023年
2月1日（水）—
3月5日（日）

鉄の歴史博物館

島根県雲南市吉田町吉田2533

TEL:0854-74-0043

zaitetsu@i-yume.ne.jp

>休館日：月曜

>入館料：一般 ¥520 小中 ¥260

>駐車場：博物館横に5台ほど可能



公益財団法人 鉄の歴史村地域振興事業団

<http://www.tetsunorekishimura.or.jp>

速報展示

タイトル： 菅谷たたら山内総合文化調査 速報展

「雲南市域における金屋子神社の奉納品その1 掛合町の八重滝たたら」

会 期： 令和5年2月1日（水）～3月5日（日）

点 数： 31点

開催内容： 菅谷たたら山内総合文化調査報告の成果を速報展示として公開する初の試み。

今回は掛合町入間の金屋子神社・天皇神社の棟札などを展示。奉納品をまとまって間近で見る機会とした。このような記録を残す意味と今後の課題について考えるきっかけとなるよう展示工夫した。

展示担当： 高橋誠二氏（雲南市教育委員会）、財団職員

出前展示1

内 容： 「吉田の鋳」

会 場： 道の駅たたら場吉番地

会 期： 7月9日（土）～9月30日（金）

展示物： 鋳、たたら解説パネル

出前展示2

内 容： 「たたら展示」

会 場： 大東図書館、加茂図書館

会 期： 10月7日（金）～11月30日（水）

展示物： 鋳、砂鉄、カナクソ、たたら解説パネル、たたら関連図書

※共通

過去に作成された収蔵品台帳を基にして、現状の収蔵品との照合作業や所在確認を行った。

③利用実績

・菅谷たたら山内及び周辺施設

入館者数：6,972人（前年度4,676人、前年度比149,1%UP）

・鉄の歴史博物館

入館者数：4,115人（前年度2,834人、前年比145,2%UP）

4) 表彰・コンクール

インスタグラムを活用したハッシュタグイベントを開催した。

タイトル： 「#鉄歴写真部 R0501」

募集期間： 令和5年1月4日（水）～2月12日（日）

開催内容： 吉田やたたらや鉄の文化に関する写メを、インスタ投稿というかたちで募った。
優秀作品は3月1日以降、鉄の歴史博物館にて掲示した。

■優秀賞

アカウント名 akadoh_15 様

記念品 侍ペーパーナイフづくり 1名様無料体験（有効期限 2023年12月28日）



ハッシュタグイベント 「#鉄歴写真部R501」

吉田に住んでる人・訪ねたことのある人
製鉄・たたらに興味のある人、日本刀好きな人、
注目！
イチャオジの一枚を、インスタ投稿してください。
一人何枚でもOK！！

～いいね！上位作品にはささやかながら賞品有～

募集期間
令和5年1月4日～
2月12日

鉄の歴史があつい

鍛冶体験なう

祭りの季節

応募方法
STEP1. Instagramで「(公財)鉄の歴史博物館事業団 (@tetsureki.tatara)」を
フォローする。
STEP2. これぞ！というイチャオジを探して・みつめて。
対象地域：雲南市吉田町とその周辺地域
対象事業：文化財・農・なたら・風景・自然・植物・動物・働く人・遊ぶ人・行事など
★あなたが「推したいモノ、キョトンとするモノ」大歓迎★
STEP3. 「#鉄歴写真部R501」をつけてInstagramに投稿。
1人何枚でも投稿OK！
他の投稿者のインスタでも見て、「いいね」し合おう♡
募集要項詳細→<http://www.tetsunorekishimura.or.jp/>

鉄
鉄の歴史博物館事業団
公益財団法人
zaitetsu@l-yume.ne.jp
〒690-2801 島根県雲南市吉田町吉田892番地1
TEL:0854-74-0311

5) 調査研究・資料収集

雲南市の「菅谷たたら山内活用事業補助金」で平成 29 年度から実施している菅谷たたら山内の総合文化調査および比較研究について引き続き着手した。

① 菅谷たたら山内とその周辺におけるたたら製鉄の比較研究

菅谷たたら山内とその周辺におけるたたら製鉄に関連して、調査研究を進めた。

執筆者は、鳥谷智文氏（松江工業高等専門学校、人文科学科教授）、高橋誠二氏（雲南市教育委員会、文化財課、主幹）、角田徳幸氏（島根県古代文化センター長）、新野邊幸一氏（松江工業高等専門学校、機械工学科教授）、梶谷光弘氏（公益財団法人いづも財団事務局長次長）に委嘱した。本年度の成果は、報告書として 300 部刊行した。

また、これまでの財団の研究成果や事業成果を活用する場として、調査協力申請・取材協力申請等を受け入れた。本年度の結果は、以下の通りとなった。

菅谷たたら山内 総合文化調査報告書 4

2023 年 3 月

公益財団法人 鉄の歴史村地域振興事業団

●取材協力・調査協力申請件数、計 49 件

（内訳）

映像撮影	20 件
施設利用	6 件
写真撮影	7 件
資料掲載許可	10 件
資料借用	6 件

② 鉄の歴史博物館の展示替え

館の展示替えを行うとともに、あらためて収蔵品の調査、目録の再作成にむけ、準備作業を進めた。

本年度はまず、展示ケース内の基台のクロス替えを順次進めた。また、2 号館展示物約 200 点については、収蔵台帳作成に向けた基礎的調査を順次すすめた。採集年・採集地域・所蔵様態・来歴等の不明な展示物が多い中での調査となっており、間違いのないよう慎重に進めた。

③ 歴史文化活動に関する助成金申請

調査研究、資料収集に必要な事業費獲得のため、助成金申請の準備をすすめた。

助成受入団体を調べ、その募集要綱・募集期間などを把握するための一覧表を作成。本年度は、令和 5 年度の財団主催たたら操業事業費として以下の申請を済ませた。申請可否は R5 年度 4 月上旬に通知予定。

- ・申請先：一般社団法人島根経済文化振興会
- ・交付申請金額：500,000 円（事業費の半額）
- ・申請内容：11 月 25・26 日に開催する財団主催たたら操業の事業費。
たたら文化の発信に主眼を置き、家族参加を促す事業として申請した。
地域振興の観点から、地域事業所との連携を含める内容とした。

④ **年報の作成** 次年度以降の刊行を目指し、事業実施履歴等の整理作業を進めた。

6) その他（雲南市たたらプロジェクト会議による文化庁事業について）

雲南市では、「たたら文化の資源の価値の見直し、掘り起こしを市民全体で行い、市民のシビックプライドの確立を図ること」を目的に、雲南市たたらプロジェクト会議を組織し、当事業団もその構成団体のひとつとして事業に加わってきた。

本年度では、文化庁の「雲南市たたら文化遺産総合活用推進事業」として、次の事業を実施した。

① 「たたら文化伝道師」認定制度策定事業

教科書刊行とその無料配布、第一回のプレ検定を実施した。

次年度以降の本検定に向けての検討をすすめた。

- ・プレ検定

実施日：1 月 28 日（土）

会 場：雲南市役所

参加数：45 人

② ヘリテージツーリズムマネージャー養成講座事業

「たたら文化伝道師」検定にむけて、対策講義を実施した。

- ・実施日：10 月 8 日（土）

会場：菅谷たたら山内、講師：木本泰二郎氏、武藤美穂子氏

- ・実施日：12 月 14 日（土）

会場：雲南市役所、講師：角田徳幸氏、鳥谷智文氏

③ 「たたら文化」インターンシップ受入事業

事業計画では 5 名の受け入れ目標があり、これは達成した。

学生は「しまね学生インターンシップ助成金（公財）ふるさと島根定住財団」を活用した。

成果物の文化財アーカイブは、鉄の歴史博物館 1 号館座敷にて放映中。

実施日：8 月 30 日（火）～9 月 3 日（土）

参加数：5 人

内 容：和鋼体験、博物館事業係補佐、文化財アーカイブ作成

1) 鋳、半製品の販売

- ・昨年度に引き続き、令和4年5月に実施の試験操業で産出した鋳73.5kgを、株式会社たなべたたらの里様にご購入いただいた。

2) オリジナル商品の開発、販売

- ・「かつらのか」の販売
- ・令和5年度に向けての商品開発及び準備作業
(例1. 商品)「たたらピース」「はがねピック」「ペーパーナイフ・小刀の販売」
(例2. 書籍)『菅谷高殿』販売準備(印刷)

3) 受託商品販売

- ・町内特産品の販売、関連書籍の新規販売(日本遺産関係)
- ※刃物産地の刃物については受託販売を終了(令和3年度末より)

管理部門

1) 賛助会員の確保と普及活動(令和5年3月末時点で個人97名、団体7団体)

- ①会員募集 - 個人会員(年会費一口5,000円)、団体会員(年会費一口30,000円)
 - ・賛助会員の案内用紙の改定作業: 令和5年度から掲示・配布する準備を行った
 - ・ホームページの活用: 令和5年度から掲載する準備を行った
- ②賛助会誌発行: 令和4年度は年1回の発行に留まった

2) 情報発信

- ①ホームページの活用: より見やすくなるように画面遷移の順番等を整理
- ②ブログ、Instagramの活用: Instagramについては、ハッシュタグイベント参照
- ③新型コロナウイルス感染症収束後を見据えた発信
 - これまで掲載できていなかった観光情報誌へ情報を掲載し、誘客のPRを行った
 - 例)『まっぶるドライブ関西・中国・四国ベスト』

3) 理事会の開催

令和4年6月11日、6月26日【書面: 代表理事選出】、10月1日【書面: 監事交替】
令和5年2月1日【書面: 評議員召集】、令和5年3月11日

4) 評議員会の開催

令和4年6月26日、10月23日【書面: 監事交替】、令和5年3月11日